



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鍛バルブ株式会社

コード番号 6493 URL <https://www.niv.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金原 利道

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 李 太煥

TEL 0463-82-1311

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	29,766	△5.5	2,273	△3.8	2,355	△0.7	872	1.5
28年3月期第3四半期	31,494	3.8	2,362	50.9	2,372	24.5	859	147.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △164百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 472百万円 (△71.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	30.21	—
28年3月期第3四半期	29.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	53,394	29,886	42.5
28年3月期	55,404	30,955	41.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 22,715百万円 28年3月期 22,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,600	0.3	3,750	20.2	3,800	21.2	1,700	109.7	58.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	28,978,860 株	28年3月期	28,978,860 株
29年3月期3Q	93,238 株	28年3月期	92,902 株
29年3月期3Q	28,885,765 株	28年3月期3Q	28,886,231 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調が続きました。先行きについても引き続き回復していくことが期待されますが、海外経済の不確実性や為替・株価の変動影響に留意する必要があります。一方、世界経済は、中国やその他新興国の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響などに留意する必要がありますものの、全体としては緩やかに回復しています。

また、当社グループが関連する自動車業界は、国内市場は依然として低調でありましたが、海外市場は中国の需要拡大や北米・欧州の販売好調などを背景に概ね堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、国内事業は、船用部品の受注減や熊本地震の影響はあったものの、中空エンジンバルブの量産拡大等により四輪車用エンジンバルブが大幅に増加し、前年同期に比べ増収となりました。海外事業は、中国・タイにおける生産拡大やインド子会社の量産開始などの増加要因はあったものの、北米における受注減や為替換算の影響等により海外事業全体では前年同期に比べ減収となりました。この結果、売上高は、297億66百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

損益面につきましては、中国の生産拡大や海外子会社立ち上げコスト減少等による増収要因はあったものの、国内事業のコスト増加や一部海外事業の受注減、為替換算の影響等により、営業利益は、22億73百万円（前年同期比3.8%減）、経常利益は23億55百万円（前年同期比0.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、過年度決算訂正関連費用の計上があったものの、投資有価証券売却益の計上や法人税等の計上額が少額であったことなどから増加し、8億72百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

<小型エンジンバルブ>

国内事業は、二輪車用エンジンバルブは微増であったものの、中空エンジンバルブの量産拡大や新規量産の立ち上がりにより四輪車用エンジンバルブが大幅に増加し、前年同期に比べ増収となりました。海外事業は、アジア地域では、中国・タイ・台湾における受注増やインド子会社の量産開始などの増収要因はあったものの、インドネシアにおける受注減や為替換算の影響等によりアジア地域全体としては前年同期に比べ減収となりました。北米地域では、一部製品の生産拠点移管や為替換算の影響により大幅な減収となりました。欧州地域では、受注減および為替換算の影響により減収となりました。

汎用エンジンバルブは、海外向け製品の減少により減収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、北米・インドネシアの受注減や為替換算の影響等による減収要因はあったものの、中国の生産拡大に伴う増収やインド子会社立ち上げ完了に伴うコストの減少等により前年同期に比べ増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、237億39百万円（前年同期比8.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、21億54百万円（前年同期比4.2%増）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

<船用部品>

船用関連製品につきましては、新規量産の立ち上がり等により一部製品は増加しましたが、円高や需要低迷の影響により組付部品・補給部品の受注が減少し、前年同期に比べ減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、24 億 66 百万円（前年同期比 2.4%減）、セグメント利益（営業利益）は、93 百万円（前年同期比 44.2%減）となりました。

<可変動弁・歯車>

可変動弁につきましては、前年同期に比べ微増となりました。

精密鍛造歯車につきましては、産業機械用製品が減少しましたが、新規量産の立ち上がり等により自動車用製品が増加し、前年同期と同水準となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、22 億 13 百万円（前年同期比 0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、0 百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）32 百万円）となりました。

<その他>

バルブリフターにつきましては、欧州・中国向け製品の受注増加や新規量産の立ち上がりにより前年同期に比べ増収となりました。

工作機械につきましては、グループ内部での取引が減少し減収となりました。

ロイヤルティーにつきましては、グループ内部での取引が減少し減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、26 億 8 百万円（前年同期比 2.8%増）、セグメント損失（営業損失）は、14 百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）1 億 61 百万円）となりました。なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、533 億 94 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 20 億 9 百万円の減少となりました。

資産の部の流動資産は、204 億 30 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 3 億 83 百万円の減少となりました。この主な要因は原材料及び貯蔵品が 1 億 98 百万円、商品及び製品が 1 億 27 百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、329 億 64 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 16 億 25 百万円の減少となりました。この主な要因は投資有価証券が 4 億 78 百万円増加したものの、機械装置及び運搬具（純額）が 13 億 83 百万円、建物及び構築物（純額）が 3 億 16 百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、127 億 61 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 10 億 60 百万円の増加となりました。この主な要因は短期借入金が 7 億 10 百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、107 億 46 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 20 億円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が 18 億 99 百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部では、298 億 86 百万円となり、前連結会計年度末と比較して 10 億 69 百万円の減少となりました。この主な要因は利益剰余金が 5 億 26 百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が 12 億 98 百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 29 年 3 月期の業績予想は、平成 28 年 5 月 13 日公表の「平成 28 年 3 月期決算短信」より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、KN-Tech Co., Ltd. を持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(法人税等の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(納入製品の不具合について)

当第2四半期連結累計期間において重要な後発事象として記載した、平成28年11月に当社が製造、納品した小型エンジンバルブ製品に関して品質上の重大な不具合が発見され、この製品不具合に関連して納入先に損失が発生した場合、当社はその損失を補償する可能性がある件につきましては、不具合製品の発生時期、納品範囲については特定に至っております。なお、重大と見られる不具合製品は少量に留まっている事が判明しております。しかしながら、不具合品の措置に関しては、納入先と検討中であり、本件が当社グループの財政状態および経営成績に与える影響につきましては、現時点において合理的に見積もることはできておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,850,907	5,736,152
受取手形及び売掛金	7,455,957	7,557,812
商品及び製品	2,329,067	2,201,537
仕掛品	1,445,206	1,364,591
原材料及び貯蔵品	2,781,110	2,582,547
繰延税金資産	368,952	357,043
その他	585,185	630,394
貸倒引当金	△2,465	—
流動資産合計	20,813,923	20,430,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,419,530	6,102,542
機械装置及び運搬具(純額)	14,792,006	13,408,575
土地	1,245,027	1,236,260
建設仮勘定	1,873,556	1,676,127
その他(純額)	680,408	626,143
有形固定資産合計	25,010,530	23,049,649
無形固定資産	571,900	472,952
投資その他の資産		
投資有価証券	8,170,857	8,649,091
出資金	940	940
長期貸付金	55,972	53,635
繰延税金資産	404,908	361,010
その他	389,610	392,333
貸倒引当金	△14,120	△14,800
投資その他の資産合計	9,008,167	9,442,209
固定資産合計	34,590,599	32,964,812
資産合計	55,404,522	53,394,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,366,028	3,649,579
短期借入金	3,876,533	4,587,496
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	279,417	198,075
繰延税金負債	888,650	874,623
賞与引当金	375,070	97,949
役員賞与引当金	58,150	—
その他	2,717,648	3,214,172
流動負債合計	11,701,498	12,761,896
固定負債		
社債	580,000	510,000
長期未払金	11,100	11,100
長期借入金	6,072,616	4,173,435
繰延税金負債	2,008,011	2,092,973
退職給付に係る負債	3,695,989	3,665,377
その他	379,420	293,780
固定負債合計	12,747,137	10,746,666
負債合計	24,448,636	23,508,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,506,942	4,500,424
利益剰余金	11,813,655	12,340,004
自己株式	△46,032	△46,149
株主資本合計	20,805,108	21,324,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,484,503	3,872,294
繰延ヘッジ損益	—	24,862
為替換算調整勘定	△512,876	△1,811,820
退職給付に係る調整累計額	△777,508	△694,703
その他の包括利益累計額合計	2,194,118	1,390,633
非支配株主持分	7,956,659	7,170,871
純資産合計	30,955,886	29,886,328
負債純資産合計	55,404,522	53,394,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	31,494,716	29,766,309
売上原価	26,645,232	25,031,987
売上総利益	4,849,484	4,734,322
販売費及び一般管理費	2,486,535	2,460,976
営業利益	2,362,949	2,273,345
営業外収益		
受取利息	17,839	21,508
受取配当金	161,658	161,095
持分法による投資利益	157,575	135,123
雑収入	57,455	71,214
営業外収益合計	394,529	388,942
営業外費用		
支払利息	172,400	141,357
為替差損	189,006	147,425
雑損失	23,389	17,784
営業外費用合計	384,797	306,567
経常利益	2,372,681	2,355,720
特別利益		
固定資産売却益	15,119	15,045
投資有価証券売却益	—	102,737
特別利益合計	15,119	117,783
特別損失		
固定資産売却損	33,442	593
固定資産除却損	9,849	34,834
減損損失	—	21,423
投資有価証券売却損	—	264
過年度決算訂正関連費用	—	217,561
特別損失合計	43,291	274,677
税金等調整前四半期純利益	2,344,509	2,198,826
法人税等	549,886	418,189
四半期純利益	1,794,623	1,780,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	935,140	907,929
親会社株主に帰属する四半期純利益	859,482	872,707

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	1,794,623	1,780,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,098	387,842
繰延ヘッジ損益	—	25,079
為替換算調整勘定	△1,106,799	△2,255,559
退職給付に係る調整額	22,313	82,839
持分法適用会社に対する持分相当額	△169,387	△185,159
その他の包括利益合計	△1,321,973	△1,944,956
四半期包括利益	472,649	△164,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,155	69,223
非支配株主に係る四半期包括利益	492,805	△233,542

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	小型 エンジン バルブ	舶用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	25,684,836	2,527,093	2,196,755	30,408,685	1,086,031	31,494,716	—	31,494,716
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	108,524	—	—	108,524	1,451,441	1,559,966	△1,559,966	—
計	25,793,360	2,527,093	2,196,755	30,517,210	2,537,473	33,054,683	△1,559,966	31,494,716
セグメント利益 又は損失(△)	2,067,518	166,963	△32,266	2,202,215	161,883	2,364,099	△1,150	2,362,949

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,150千円は、セグメント間取引消去140,596千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△141,746千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	23,672,614	2,466,179	2,213,485	28,352,278	1,414,031	29,766,309	—	29,766,309
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	66,940	—	—	66,940	1,194,598	1,261,538	△1,261,538	—
計	23,739,554	2,466,179	2,213,485	28,419,218	2,608,629	31,027,848	△1,261,538	29,766,309
セグメント利益 又は損失 (△)	2,154,156	93,161	111	2,247,429	△14,695	2,232,733	40,612	2,273,345

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額 40,612 千円は、セグメント間取引消去 159,214 千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△118,602 千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。